

1組織及び事務の概要

課長

副課長

林務・構想推進担当（5人）

・森林伐採、開発等の監視、指導
・森づくり構想、基本計画の進捗管理
・施設及び財産（市有林等）の管理
・新たな架線系システム導入プロジェクト
・森林組合の経営支援及び人材育成
・とよた森林学校の企画、運営
・森づくりの普及啓発及び市民活動支援

森づくり・地域材担当（8人（うち会任1、実務研修生1））

・間伐の推進、地域森づくり会議（団地化）の支援
・森林GIS、ICTの推進
・森林環境譲与税
・林地台帳の整備
・原木集荷安定供給の調整
・地域材の利用拡大、ウッドディーラー豊田の支援
・森林会館指定管理
・アカデミー派遣（1人）

林道担当（11人（うち会任4、実務研修生2））

・林道の計画、整備及び管理
・県代行林道の調整
・林道パトロール
・中核製材工場の用地管理

全職員27人

うち会計任用職員5人
実務研修生3人

2事業実績等

「森林の持つ多面的機能が発揮できる森づくり」【公益的機能（土砂災害防止、水源涵養、教育文化、生物多様性、保健レクリエーション、温暖化防止）】、【木材生産機能】

○「過密人工林の解消」（今後20年間で市内の人工林を健全化）

○「将来の森の価値を高める」「森林資源を利用する」

⇐ 公費主導による森林整備（人工林の間伐促進・・・森づくり会議・団地化、市民理解の醸成・・・森林環境教育、地域材利用）

⇐ 経済循環による森林整備（製材工場稼働による木材生産の活発化・・・木材利用の推進）

事業・事務の概要、取組内容、実績、評価等

I森林の持つ公益的機能の維持増進

【概要】

目的：地域の団地化を進め、計画的な間伐により過密人工林を順次解消し、公益的機能の増進を図る

手段：①森づくり団地内の40%切置き間伐等の市単独補助、造林事業の上乗せ補助
②地域森づくり会議及び森林組合に対し、団地化面積に応じて各10,000円/haを交付

指標：間伐面積：1,200ha/年、団地化面積：1,200ha/年（第3次森づくり基本計画）

【取組内容・実績】

① 予算間伐事業（※右記5事業）

市関連5事業区分	令和2年度	令和元年度	増減
矢作川水源対策事業	45 ha	100 ha	△55 ha
水源環境林対策事業	32 ha	12 ha	20 ha
間伐促進事業	230 ha	125 ha	105 ha
水道水源間伐事業	83 ha	79 ha	4 ha
水道水源林確保事業	30 ha	22 ha	8 ha
計	420 ha	338 ha	82 ha

◇令和2年度 市内間伐面積：919ha（県事業499ha）、達成率76%（目標値1,200ha/年）

〔参考〕公有林（市、県）の間伐面積28haを含めると947ha

② 地域森づくり会議、団地化の実績

年度	設置会議数	累計	新規団地数	累計	新規面積	累計
令和2年度	1	112	38	592	1104.31 ha	13,235.12 ha
令和元年度	2	111	44	554	1062.28 ha	12,130.81 ha

◇令和2年度 団地化面積計：1,104.31ha 達成率92%（目標値1,200ha/年）

◇団地化の対象であるスギ・ヒノキの私有林約27,000haに対する達成率49%

【評価・成果】（●は課題点等、▮は方向性）

○間伐面積、団地化面積ともに前年度実績を上回る成果を上げ、着実に進めることができた

●団地化が困難な地域への対応策、健全化された森林を維持するための方策の検討

▮デジタル技術等を活用した森林整備の効率化、地域と一体となった森づくりの推進

事業名

令和2年度
決算額（円）

令和元年度
決算額（円）

増減（円）

【間伐関係】

矢作川水源林対策費補助金
※森林整備に係るもの

(46,988,829)
15,085,019

(61,105,483)
33,294,723

(△14,116,654)
△18,209,704

水源環境林整備費

14,026,449

6,413,560

7,612,889

間伐促進事業費

64,754,648

33,695,182

31,059,466

(水道水源保全事業特別会計)
水道水源林間伐促進費補助金

29,923,616

29,999,758

△76,142

(水道水源保全事業特別会計)
水道水源林確保費(委託料)

17,297,556

13,739,000

3,558,556

5事業計

141,087,288

117,142,223

23,945,065

【団地化関係】

森づくり推進組織育成費交付金

22,086,200

21,245,600

840,600

(水道水源保全事業特別会計)
水道水源林確保費(手数料)

8,394,485

7,258,944

1,135,541

2事業計

30,480,685

28,504,544

1,976,141

事業・事務の概要、取組内容、実績、評価等	事業名	令和２年度 決算額（円）	令和元年度 決算額（円）	増減（円）
Ⅱ 林業事業体の育成支援と効率的施業の推進 【概 要】 目的： 森林管理の中核を担う豊田森林組合の強化を図る 手段： ①第３次中期経営計画に基づく経営体制強化の実行支援 ②森林組合職員・森林作業員の確保、人材育成の支援 指標： ①中期経営計画運営支援の実施 ②新卒者の採用３人〔豊田森林組合第３次中期経営計画〕、 緑の雇用新規研修生３人、森林施業プランナー育成４人〔第３次森づくり基本計画〕 【取組内容・実績】 ①第３次中期経営計画の総括、第４次中期経営計画の策定支援 ②新卒林業従事者（３人）の林業大学校等での就学支援、岐阜県立森林文化アカデミーと連携した森林施業プランナー養成研修（６人）を実施	森づくり担い手育成支援費補助金	17,320,100	17,974,000	△653,900
	現場技能者育成推進対策費補助金	8,710,567	－	8,710,567
	森づくり推進費計画推進費	5,442,514	7,018,020	△1,575,506
	森づくり人材育成研修補助金	600,000	656,000	△56,000
	４事業計	32,073,181	25,648,020	6,425,161
	【評価・成果】（●は課題点等、■は方向性） ○第３次中期経営計画での組織体制、雇用形態等の経営体制改革が運用された ○令和３年度豊田森林組合で、新卒採用３人、新規「緑の雇用」２人 を雇用 ●継続的な人材確保 ■森林組合への経営支援、人材確保のための情報発信等			
Ⅲ 森林・林業基盤の整備 【概 要】 目的： 森林資源の循環利用を推進する 手段： 林道等の基盤整備を進めると同時に、中核製材工場等への原木の安定供給のため連携を図る 指標： ①中核製材工場原木取扱量 35,000 ㎥／年（うち市内産 22,400 ㎥／年） ②路網の整備（開設 林道３路線、作業道 3,500m、搬出路 28,000m、林道舗装 6 路線、 林道改良 6 路線、橋りょう修繕 1 橋） 【取組内容・実績】 ①原木安定供給に向けた「需給調整会議」の定期的な開催 ②路網整備（開設）	矢作川水源林対策費補助金 ※作業路整備に係るもの	(46,988,829) 31,903,810	(61,105,483) 27,810,760	(△14,116,654) 4,093,050
	林道開設費	79,499,499	91,273,706	△11,774,207
	林道舗装費	120,601,800	93,529,700	27,072,100
	林道改良費	135,595,900	102,938,251	32,657,649
	間伐材搬出路網開設費補助金	39,517,020	43,114,890	△3,597,870
	林道橋りょう維持管理費	11,266,200	20,062,200	△8,796,000
	６事業計	418,384,229	378,729,507	39,654,722
	【評価・成果】（●は課題点等、■は方向性） ○中核製材工場原木取扱量 36,783 ㎥、達成率 105%（前年度比 5,079 ㎥増、16%増）、 うち市内産 26,349 ㎥、達成率 117% ○利用間伐面積 176ha（前年度比 14ha 減、7%減）、 組合生産量 31,532 ㎥、うち受託林産は、30,954 ㎥（前年度比 1,862 ㎥増、6%増） ●製材工場への原木安定供給（令和４年度 45,000 ㎥、うち組合納材協定量 28,800 ㎥） ■団地化事業等による施業地の確保 ■新たな作業システムや高性能林業機械の導入等による現場の生産性向上 ■計画的な路網整備とデジタル技術を活用した効率的な林道の設計・管理手法の確立			
Ⅳ 地域材の利用拡大 【概 要】 目的： 市民等の森づくりに対する理解の醸成、林産業の振興による地域経済の活性化 手段： ①民間施設等での地域材利用への補助、公共建築物での地域材利用への調整 ②川上～川中～川下に至る関係者間の連携を図るコーディネートへの支援 指標： 公共及び民間施設での地域材利用の拡大、民間の木材関係者の連携体制づくり 【取組内容・実績】 ①店舗等の民間施設での地域材利用への補助（テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金） 公共建築物での地域材利用促進に向けた関係部署との調整 ②一般社団法人ウッディーラー豊田の事業運営支援（商品開発、地元工務店へのヒアリング等） 豊田森林組合、西垣林業、ウッディーラー豊田、民間企業で連携して地域材の情報発信（ビジネスフェア出展）	地域材利用拡大推進費活動推進費	4,114,056	5,523,511	△1,409,455
	テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金	2,306,000	－	2,306,000
	２事業計	6,420,056	5,523,511	896,545
	【評価・成果】（●は課題点等、■は方向性） ○補助金２店舗交付により、市街地飲食店等で地域材利用が行われた ○商品開発（飛沫防止パネルの製作、松坂屋おせち重箱、御朱印帳等）により、市民等が 地域材に触れる機会が増えた ●地域材の流通強化 ■地元工務店等での利用を促進させる新たな流通ルートの開拓 ●豊田市産材の認知度 ■価値創造とロゴマーク等情報発信によるブランド確立			